



「学校教育目標」

絆を深め、地域社会に
貢献できる生徒の育成

- 自ら学ぶ
- 思いやる
- 体を鍛える

文責 竹田 圭志

資源回収、ご協力ありがとうございました

12月11日（土）に第2回PTA資源回収が行われました。

年末のご多用の中、ご協力いただいた保護者の皆様、また、資源を提供して下さった地域の皆様に心より感謝申し上げます。特に、準備の段階から色々とお手数をお掛けしたPTA執行部の皆様、当日も早朝から対応して下さったPTA環境指導部の皆様には厚く御礼申し上げます。

資源回収で得られた収益金は、PTA活動やPTAを通じた学校教育への支援金として有効活用させていただきます。ありがとうございました。



「我先に！」と、資源を運搬していただいた車に駆け寄る生徒たち。

いよいよ入学試験のスタートです

私立高校を受験する際に、「願書」と共に提出が必要となる「推薦書：学校（校長）推薦を証明する書類（すべての私立高校が必要というわけではありません）」が、担任の先生を通して3年生（受験生）から私の元に提出されました（12月16日）。

1月5日（水）に担任の先生から国立・私立高校等に入学願書を出す生徒に「調査書」が手渡され、1月上旬までに各自が受験校へ願書を提出。そして、本番の入学試験は1月17日からになります。いよいよ入学試験のスタートですね。

2年生の皆さんは「もう1年しかないんだ!」、1年生の皆さんは、「いよいよ2年後だ!」と考えるべき時期が来たということです。

コロナ禍の影響もあるのでしょうか、出願はほとんどの私立高校がインターネットや郵送での手続きになるようです。作成や提出が簡単な反面、事前に教師によるチェックなどがしづらいため、受験生や家庭の自己責任となる部分が大きくなります。ぜひ、十分に確認しながら進めてください。何事もトラブルはつきものです。あまり神経質になり過ぎないでください。何かあったら慌てずに担任や学年の先生に相談してください。

アンサンブルコンテスト県大会

12月18日（土）に、久喜総合文化会館で開催されたアンサンブルコンテスト埼玉県大会に、吹奏楽部が出場しました。地区予選を金賞で通過した吹奏楽部の3名による「打楽器三重奏」は、県大会で銅賞を受賞しました。

実際に会場の観客席で演奏を鑑賞した教頭先生や当日引率された顧問の宮澤先生、佐藤先生のお話では、練習の成果を十分に発揮できた素晴らしい演奏だったようです。

吹奏楽部は2年生が1名で、1年生が大半を占めるまだまだ伸びしろのあるチームです。これからのさらなる成長と活躍が楽しみです。



本番当日の出発前、最後の練習での様子!

「悩み」は誰かに聞いてもらうだけで半分になります

中学生期は大人に成長していく過程で、誰もが多くの悩みを持つ時期でもあります。悩みがない人はいないと言ってもいいかもしれません。勉強や成績のこと、友達のこと、家族のこと、自分自身の体や性格のこと、恋愛のこと、卒業後の進路や将来のこと…。保護者の皆様にも経験があると思います。不安になったり、イライラしたり…。きっと、今の中学生は、保護者の皆様の中学時代以上に、生活環境が急激に変わり（保護者：ポケベル、ガラケー世代から、子供たち：スマホ、SNS世代です）、相手の顔が見えない、声が聞こえないやりとりが当たり前の時代、不安や悩みを感じやすくなっているのではないのでしょうか。本音をなかなか口に出さない子供たちも多いことでしょう。周囲を心配させないように平静を装いながらも、色々な葛藤と日々闘っていると思います。年末年始は時節の大きな節目です。この機会を利用してお子さんと色々話してみてはいかがでしょうか。

保護者の皆様もお子さんとのことで心配なことがありましたら、遠慮なさらず学校へご相談ください。また、各種相談機関を活用することもお勧めください。親や教師に話しづらいことも、全くの見知らぬ人にだったら話せることもあります。悩みは誰かに聞いてもらうだけで半分になります。先日お配りした「孤独・孤立対策ホームページ」以外にも参考にいくつか別紙（厚生労働省：主な相談窓口一覧）にて紹介しますのでご利用ください。

また、別紙以外にも埼玉県独自の相談窓口があります。

本校の「さわやか相談室（☎ 0493-72-8155）」でも、子供たちは、ちょっと立ち寄って、ちょっと話を聞いてもらって、たったそれだけでもずいぶん「心のモヤモヤ」が晴れているようです。一人で抱え込まず誰かに聞いてもらうことが大切です。

私もたまに相談室で話を聞いてもらって、心をリセットしています。

<児童・生徒対象の相談機関>

☆よい子の電話教育相談（24時間365日） ☎#7300 または、0120-86-3192

<保護者、児童・生徒対象の相談機関>

☆埼玉県福祉部こども安全課 親と子供の悩みごと相談@埼玉

（9:00～21:00 土日祝は9:00～17:00 年末年始は休業）LINEで登録（URコード）⇒



☆埼玉県福祉部こども安全課 子どもスマイルネット

（10:30～18:00 祝日・年末年始を除く）電話相談 ☎048-822-7007

☆社会福祉法人サイタマいのちの電話

（電話相談：24時間365日 ☎048-645-4343）

（フリーダイヤル16:00～21:00 ☎0120-783-556）

武道（柔道）の授業

保健体育で2学期末に扱う単元は「武道（柔道）」でした。

以前、新しい教育課程（授業で扱う内容）で「武道」が必修化されたときに、高校や大学の柔道部活動中の事故による「死亡や重篤な後遺症の事例が少なくない」ことが問題視されました。このことで、「柔道＝危険なスポーツ」という印象が強くなってしまったようですが、中学校の授業で扱う「柔道」は、他のスポーツと比較しても極端に事故が多いわけではありません。

本校でも、子供たちの技量に応じた段階的な指導を通して、「安全な柔道」の授業を展開しています。子供たちは短期間にもかかわらず、しっかり技量を高めながら楽しく参加しています。



1年生「体落とし」の練習。
未経験者がこの通り。鮮やか！